

建コン九州と熊本市意見交換

成績評価結果公表を要望

歩掛見積り平均値採用前向き

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部と九州各県・政令市との令和3年度の意見交換会が29日、熊本市を皮切りにスタートした。写真。建コン協の業務成績評価制度の公表に関する要望に対し、市は試行中の同制度の運用状況等を検証し、5年度分の業務評価を6年度中に公表する考えで検討を進めていることを明らかにした。



意見交換会は例年10月から12月ごろに、建コン九州支部が九州各県および政令市を訪問し、実施しているもの。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を考慮し、一部自治体とはWEB方式等も

また、最低値が採用されている同市の歩掛見積り徴取時の予定価格については、建コン協が「平均値」に変更するよう提案。市は、同じく最低値を採用する熊本県と協議を行うなど、調整中である一等等と回答し、変更に向き姿勢を示した。

田中清支部長は、意見交換会のスタートに当たり、「詳細なデータをまとめ、提示することで、それぞれの要望・提案の必要性や重要性に対する、自治体側の理解につなげていきたい」とする。また、技術力による選定の必要性等に関して、全体的に自治体に改めて訴え掛けていく考えを示した。

活用して開催する。各自治体への共通の要望・提案項目は、2年度と同じく「担い手確保・育成のための環境整備」「技術力による選定」「品質の確保・向上」。

冒頭、田中支部長と清水部長があいさつ。引き続き、熊本市への個別提案である①複数受注制限の緩和②測量作業等の熱中症対策に係る費用の取

「熱中症対策」に関しては、建コン協が市発注工事で試行されている熱中症対策費を補正する取り組みを、測量等の作業でも実施するよう提案。市は、国からの通知で工事関係の試行を開始した経緯を説明し、測量等においても国からの通知があれば適切に対応していきたい、等と応じた。

「歩掛見積り」の項目では、建コン協が熊本県・市を除く九州管内の県・政令市において、現在、平均値もしくは平均値直下が採用されていることを説明し、熊本市も平均値を採用するよう要望。

「業務評価と表彰」の項目では、品質の向上や技術力強化の推進、技術者のモチベーションの向上などの観点から、建コン協が評価結果の公表と表彰制度の導入等を要望。このうち表彰制度については市は、現在、制度研究を行っており、その内容を踏まえ今後、導入の可否について判断していく一等等との現況を説明した。

このほか、各自治体共通の要望・提案項目では、建コン協が「安定的な事業量の確保」を求め、市もそのための予算確保に努めていく一等等と回答。「平準化」に関する議題では、市が2年度の納期実績として第4四半期で約71%、3月が約50%であったことを報告、「今後も可能な限り平準化を進めていく」との意向を示した。

意見交換会は例年10月から12月ごろに、建コン九州支部が九州各県および政令市を訪問し、実施しているもの。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を考慮し、一部自治体とはWEB方式等も

り扱い③歩掛見積りも徴取時の予定価格の設定④業務成績評価制度の公表および表彰制度の導入等一に係る項目を中心に意見を交わした。

「受注制限」の項目では、同市の指名競争と一部一般競争で、それぞれ受注業務数を1件に制限している制度について、建コン協が担い手の中長期的な育成・確保の観点から、制限の緩和を要望。市は、測量・コン

サル系の市内業者数と、委託業務の年間発注件数を勘案すると、受注機会均等の観点などから制限緩和は難しい一等等とする見解を示した。